

遺伝性疾患遺伝子検査 検査情報 (犬)

疾患名	検査名 (〔〕内は略称)	検査対象種	遺伝子名	変異名(変異タイプ)	解析方法	報告様式(遺伝子型)	解説
進行性網膜萎縮症 (PRA)	prod c.5 遺伝子型(PRA-prod) [PRA-prod (prod遺伝子型)]	トイ・プードル、ミニチュア・プードル、ヨークシャー・テリア、チワワ、ゴールデン・レトリバー、ラブラドル・レトリバー、アメリカン・コッカー・スパニエル、イングリッシュ・コッカー・スパニエル、オーストラリアン・シェパード	prcd	c.5G>A	PCR-RFLP法	G/G クリア	当遺伝子変異が関与しないタイプのPRAの発症の可能性を完全否定することはできません。
						G/A キャリア	当遺伝子変異が関与しないタイプのPRAの発症の可能性を完全否定することはできません。交配により変異が子犬に遺伝する可能性があります(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
						A/A アフェクテッド	PRAを発症する遺伝子型とされています。交配により変異が子犬に遺伝します(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
進行性網膜萎縮症 (PRA)	RPGRIPI遺伝子 44塩基挿入変異(PRA-cord1) [PRA-cord1 (RPGRIPI遺伝子型)]	ミニチュア・LH・ダックス	RPGRIPI	Ins44	PCR-AFLP法	+/+ クリア	*本疾患には複数の遺伝子変異の関与が疑われており、RPGRIPI遺伝子の変異の有無のみでは発症の診断、予測はできないとされています。
						+/- キャリア	交配により変異が子犬に遺伝する可能性があります(本疾患には複数の遺伝子変異の関与が疑われており、RPGRIPI遺伝子の変異の有無のみでは発症の診断、予測はできないとされています)。
						-/- アフェクテッド	交配により変異が子犬に遺伝します(本疾患には複数の遺伝子変異の関与が疑われており、RPGRIPI遺伝子の変異の有無のみでは発症の診断、予測はできないとされています)。
CNGB1遺伝子欠失挿入変異(PRA-CNGB1 related) [PRA-CNGB1 related (CNGB1遺伝子型)]	CNGB1	ハビオン	c.2685delA2687_2688insTAGCTA	PCR-RFLP法	+/+ クリア	当遺伝子変異が関与しないタイプのPRAの発症の可能性を完全否定することはできません。	
					+/- キャリア	当遺伝子変異が関与しないタイプのPRAの発症の可能性を完全否定することはできません。交配により変異が子犬に遺伝する可能性があります(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。	
					-/- アフェクテッド	PRAを発症する遺伝子型とされています。交配により変異が子犬に遺伝します(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。	
フォンウィルブラント病 (vWD)	vwf c.7437 遺伝子型(vWD-typeI) [VWD-type I (vwf遺伝子型)]	ドーベルマン・ピンシャー、ウェルシュ・コーギー・ペンブローク、スタンダード・プードル、パニーニーズ・マウンテン・ドッグ、ハビオン	vwf	c.7437G>A	PCR-RFLP法	G/G クリア	当遺伝子変異が関与しないタイプのフォンウィルブラント病の発症の可能性を完全否定することはできません。
						G/A キャリア	フォンウィルブラント病(Type I)を発症する遺伝子型とされています。交配により変異が子犬に遺伝する可能性があります(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
						A/A アフェクテッド	フォンウィルブラント病(Type I)を発症する遺伝子型とされています。交配により変異が子犬に遺伝します(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
						+/+ クリア	当遺伝子変異が関与しないタイプのフォンウィルブラント病の発症の可能性を完全否定することはできません。
フォンウィルブラント病 (vWD)	vwf c.255 遺伝子型(vWD-typeIII) [VWD-type III (vwf遺伝子型)]	スコティッシュ・テリア	vwf	c.255delC	PCR-RFLP法	+/- キャリア	当遺伝子変異が関与しないタイプのフォンウィルブラント病の発症の可能性を完全否定することはできません。交配により変異が子犬に遺伝する可能性があります(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
						-/- アフェクテッド	フォンウィルブラント病(Type 3)を発症する遺伝子型とされています。交配により変異が子犬に遺伝します(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
						+/+ クリア	当遺伝子変異が関与しないタイプのフォンウィルブラント病の発症の可能性を完全否定することはできません。
						+/- キャリア	当遺伝子変異が関与しないタイプのフォンウィルブラント病の発症の可能性を完全否定することはできません。交配により変異が子犬に遺伝する可能性があります(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
フォンウィルブラント病 (vWD)	[VWD-type III (vwf遺伝子型)]	シェットランド・シープドッグ	vwf	(deletion)	PCR-RFLP法	-/- アフェクテッド	フォンウィルブラント病(Type 3)を発症する遺伝子型とされています。交配により変異が子犬に遺伝します(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
						+/+ クリア	当遺伝子変異が関与しないタイプのフォンウィルブラント病の発症の可能性を完全否定することはできません。
						+/- キャリア	当遺伝子変異が関与しないタイプのフォンウィルブラント病の発症の可能性を完全否定することはできません。交配により変異が子犬に遺伝する可能性があります(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
						-/- アフェクテッド	フォンウィルブラント病(Type 3)を発症する遺伝子型とされています。交配により変異が子犬に遺伝します(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
フォンウィルブラント病 (vWD)	vwf c.2242 遺伝子型(vWD-typeIII) [VWD-type III (vwf遺伝子型)]	コーイケルホンディエ	vwf	c.2242+1G>A	ダイレクトシーケンス法	G/G クリア	当遺伝子変異が関与しないタイプのフォンウィルブラント病の発症の可能性を完全否定することはできません。
						G/A キャリア	当遺伝子変異が関与しないタイプのフォンウィルブラント病の発症の可能性を完全否定することはできません。交配により変異が子犬に遺伝する可能性があります(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
						A/A アフェクテッド	フォンウィルブラント病(Type 3)を発症する遺伝子型とされています。交配により変異が子犬に遺伝します(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
						C/C クリア	当遺伝子変異が関与しない類似疾患の発症の可能性を完全否定することはできません。
セロイドリポフスチン症 (CL)	cln5 c.619 遺伝子型(CL) [CL (cln5遺伝子型)]	ボーダー・コリー	cln5	c.619C>T	PCR-RFLP法	O/T キャリア	当遺伝子変異が関与しない類似疾患の発症の可能性を完全否定することはできません。交配により変異が子犬に遺伝する可能性があります(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
						T/T アフェクテッド	CL症を発症する遺伝子型とされています。交配により変異が子犬に遺伝します(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
						+/+ クリア	あらゆるタイプの遺伝性眼疾患の発症の可能性を完全否定することはできません。
						+/- キャリア	あらゆるタイプの遺伝性眼疾患の発症の可能性を完全否定することはできません。交配により変異が子犬に遺伝する可能性があります(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
好中球減少症 (TNS)	VPS13B遺伝子型 4塩基欠失変異(TNS) [TNS (VPS13B遺伝子型)]	ボーダー・コリー	VPS13B	g.4411950_4411953delGTTT	リアルタイムPCR法	+/+ クリア	当遺伝子変異が関与しない類似疾患の発症の可能性を完全否定することはできません。
						+/- キャリア	当遺伝子変異が関与しない類似疾患の発症の可能性を完全否定することはできません。交配により変異が子犬に遺伝する可能性があります(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
						-/- アフェクテッド	遺伝性好中球減少症を発症する遺伝子型とされています。交配により変異が子犬に遺伝します(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
						+/+ クリア	あらゆるタイプの遺伝性眼疾患の発症の可能性を完全否定することはできません。
コバリン吸収不良症 (IGS)	CUBN c.8392del 遺伝子型(IGS) [IGS (CUBN遺伝子型)]	ボーダー・コリー	CUBN	c.8392delC	PCR-RFLP法	+/+ クリア	当遺伝子変異が関与しない類似疾患の発症の可能性を完全否定することはできません。
						+/- キャリア	当遺伝子変異が関与しない類似疾患の発症の可能性を完全否定することはできません。交配により変異が子犬に遺伝する可能性があります(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
						-/- アフェクテッド	IGS(SCM症)を発症する遺伝子型とされています。交配により変異が子犬に遺伝します(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
						+/+ クリア	あらゆるタイプの遺伝性眼疾患の発症の可能性を完全否定することはできません。
ガングリオンドーシス (GM)	GLB1 c.1647 遺伝子型(GM1) [GM1 (GLB1遺伝子型)]	柴犬	GLB1	c.1647delC	PCR-RFLP法	+/- キャリア	当遺伝子変異が関与しない類似疾患の発症の可能性を完全否定することはできません。交配により変異が子犬に遺伝する可能性があります(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
						-/- アフェクテッド	GM1ガングリオンドーシスを発症する遺伝子型とされています。交配により変異が子犬に遺伝します(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
						+/+ クリア	あらゆるタイプの遺伝性眼疾患の発症の可能性を完全否定することはできません。
						+/- キャリア	あらゆるタイプの遺伝性眼疾患の発症の可能性を完全否定することはできません。交配により変異が子犬に遺伝する可能性があります(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
薬剤感受性 (MDR1)	MDR1遺伝子型 4塩基欠失変異(MDR1) [MDR1 (MDR1遺伝子型)]	コリー、ボーダー・コリー、シェットランド・シープドッグ、オーストラリアン・シェパード、イングリッシュ・シェパード、ジャーマン・シェパード、ホワイ・スイス・シェパード	MDR1(ABCB1)	c.296_299del4	PCR-RFLP法	+/+ クリア	薬物感受性(副作用)の可能性を完全否定することはできません。
						+/- キャリア	薬物感受性(副作用)の可能性を完全否定することはできません。交配により変異が子犬に遺伝する可能性があります(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
						-/- アフェクテッド	薬物感受性(副作用)を呈する遺伝子型とされています。交配により変異が子犬に遺伝します(子犬の発症如何は相手の遺伝子型によります)。
						+/+ クリア	あらゆるタイプの遺伝性眼疾患の発症の可能性を完全否定することはできません。

クリア=正常型のホモ接合
 キャリア=正常型と変異型のヘテロ接合
 アフェクテッド=変異型のホモ接合